

The Splendor of Persian Carpet

Antique Rugs of Miri Private Collection and recent examples of Miri Creation

特別展

イラン、ミールー工房の復元作品と古典作品

ペルシヤ絨毯の世界

華麗なる



格子庭園模様のペイル織り絨毯
イラン、チャハールマハール・バクティヤリ州
20世紀前半・ミールー工房蔵

2005年

4月16日(土)～5月29日(日)

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日：毎週月曜日

とき

ところ

岡山市立オリエント美術館

〒700-0814 岡山市天神町9-31 tel 086-232-3636
<http://www.city.okayama.okayama.jp/orientmuseum/>

入館料

一般 800円(前売り700円)、高大生・満65歳以上600円、小中生 400円

※ 20名以上の団体は当日料金から各100円割引

※ 障害者とその付添者(1名)は無料(障害者手帳を提示ください)

- 主催 岡山市立オリエント美術館、山陽放送株式会社
●後援 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、岡山オリエント協会、岡山市連合町内会、岡山市連合婦人会、山陽新聞社、岡山日日新聞社、中国新聞社、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、読売新聞大阪本社、産経新聞岡山総局、日本経済新聞岡山支局、NHK岡山放送局
●協力 ミールー工房、千代田トレーディング株式会社

特別協賛 タマホーム



岡山市立オリエント美術館

〒700-0814 岡山市天神町9-31 Tel. (086)232-3636

<http://www.city.okayama.okayama.jp/orientmuseum/>

特別展

華麗なるペルシャ絨毯の世界

～イラン、ミーリー工房の復元作品と古典作品～

ペルシャ絨毯のすべて

大自然の中を移動しながら生活する遊牧民にとって、絨毯は暮らしを暖かく守る必需品。手紡ぎの羊毛を草木で染め、あやなす模様を織り上げるそれは、風土が育んだ優れた工芸であり、世界に知られて愛されています。



素朴な中に愛着を感じる遊牧民の絨毯は、繰り返される日々を通して織られ、人々の共同体が遠い昔から受け継いできたもの。そして紀元前6世紀の古代ペルシャ帝国以来、高度な都市文明が栄えたイランでは、華やかな宮廷で美を競い、敬虔な祈りでモスクへ寄進される、贅を尽くした作品も作られました。ところが近代における工業化から、安易な機械の導入や化学染料の使用で、絨毯制作にも大きな変化が生じました。

イランの首都、テヘランにあるミーリー工房は、1820年の創業で、5代目のラズイー・ミーリー氏は過去の織り方から高度な技法を復元し、制作に生かして評価を得るとともに、出版などでペルシャ絨毯の知識の普及にも努めています。

この展覧会では、ミーリー工房が所蔵する19世紀～20世紀前半の各種の絨毯67点と、同工房による復元品19点で、イラン染織工芸の華、ペルシャ絨毯を紹介します。また、茜、藍、ザクロ、クルミなどの染色原料や、遊牧民のテントと織機、美しいイランの風景の写真を添え、イランの織り手による制作実演をあわせて、ペルシャ絨毯の魅力をさまざまに解き明かします。

●オープニングセレモニー

4月16日(土) 午前10時～12時

●イランから来たミーリー工房の織り手による、ペルシャ絨毯の制作実演

4月23日(土)～5月7日(土) ※ただし4月25日(月)、5月2日(月)は休館

●講演会

4月16日(土)「ペルシャ絨毯～昔と今～」*

講師:アリ・ソレマニエ氏(千代田トレーディング代表、イラン文化史家)

4月30日(土)「ペルシャ絨毯とミーリー工房を訪れて」

講師:飯島 章仁(当館学芸員)

5月7日(土)「私のハリメジャン村日誌～カスピ海沿岸の小さな村の日常生活～」*

講師:千代延 恵正氏(元東京大学東洋文化研究所技官、イラン考古学者)

5月28日(土)「地中海・中近東の建築装飾と織物の柄」

講師:飯島 章仁(当館学芸員)

いずれも美術館地下講堂にて、午後1時～4時30分(午後2時30分～3時休憩)。
定員90人(お申込みは美術館まで電話で)。

*印は聴講料500円。講演はすべて日本語で行われます。



●JR岡山駅東口より市内電車「東山」行きで約5分、「城下」下車、左手すぐ。
●JR岡山駅東口より徒歩15分。

※当館には駐車場はありませんが、市営天神町駐車場をご利用の場合、当館受付にて、割引券(1台1回につき100円)を交付します。



岡山市立オリエント美術館

〒700-0814 岡山市天神町9-31 Tel. (086)232-3636
<http://www.city.okayama.okayama.jp/orientmuseum/>